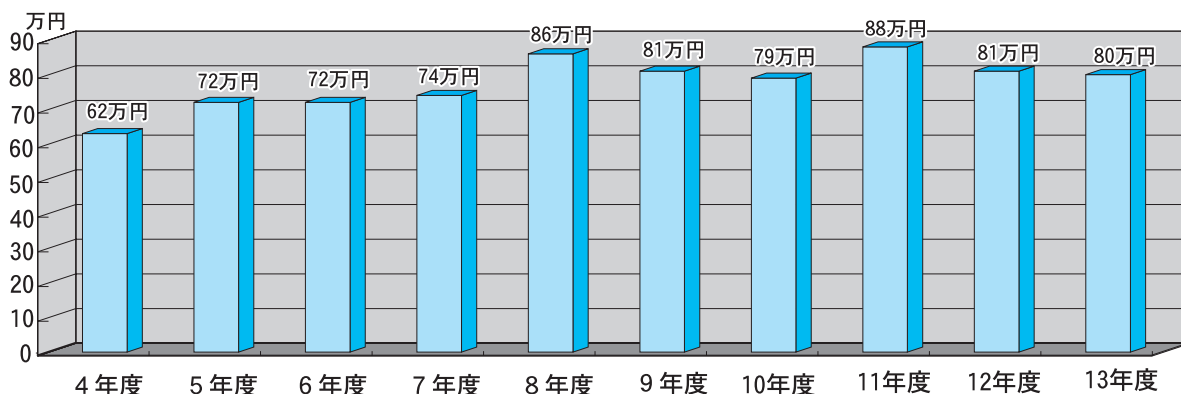


1人当たりの老人医療給付費の10年間の推移を見ると、下のグラフのように全体として右肩上がりとなっていることがわかります。これは、医療技術の高度化や、高齢社会に伴う受給対象者が増えたことによるものと考えられます。



また、平成13年度の受診状況を集計すると下の表のような分析結果が出ています。

多 受 診							重 複 受 診						
順位	年齢	性別	受診した医療機関数	受診件数	費用額(円)	備 考	順位	年齢	性別	受診した医療機関数	受診件数	費用額(円)	備 考
1	53	女性	10	63	1,367,440		1	74	男性	8	62	846,920	
2	86	男性	9	61	684,480		2	77	男性	8	61	2,689,520	
3	74	男性	7	60	839,170		3	81	男性	7	60	3,604,740	入院回数 1 回含
4	70	男性	20	60	2,897,620	入院回数 8 回含	4	68	女性	9	59	1,164,170	入院回数 2 回含
5	64	女性	6	60	508,900		5	45	女性	13	55	1,576,090	入院回数 2 回含
6	74	男性	7	59	812,370		6	63	男性	5	52	827,960	
7	80	男性	7	57	1,261,800	入院回数 1 回含	7	64	男性	6	51	2,511,770	入院回数 1 回含
8	77	男性	6	55	2,543,290		8	79	男性	5	51	2,601,900	入院回数 1 回含
9	68	女性	8	55	1,127,890	入院回数 2 回含	9	38	男性	5	50	1,777,410	
10	65	男性	10	55	1,418,220	入院回数 2 回含	10	75	男性	5	49	2,216,910	

表の見方

- ・多受診の1位の方は、1か月の間に3か所以上の病院で受診している状態が3か月以上続いていて、年間10か所の病院に63回受診したものです。
- ・重複受診の1位の方は、1か月の間に同じ診療科の病院に2か所以上受診している状態が3か月以上続いていて、年間8か所の病院に62回受診したものです。

上の表のようなかかり方をすると、医療機関ごとに初診料や検査料などが重複してかかることがあり、費用が重複するとともに、もしかしたら同じ薬が出ていてもわからない場合があります。

このことから、適正に受診することが健康管理のうえでも非常に大切で、医療機関へのかかり方を注意することで、健康維持と医療費抑制につながります。

やっぱり健康が一番ね。
ウォーキングでも始めようかしら！



おばあちゃん。病院にかかるのをガマンすることはよくないことだけど、かかり方は考えた方がいいみたいね！！

